

科目名	建築概論							年度	2025
英語科目名	Architecture Overview							学期	前期
学科・学年	建築学科 2年次	必/選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	演習
担当教員	山田 俊之		教員の実務経験	有	実務経験の職種	建築設計			
【科目の目的】 建築とインテリアを学ぶ上で特有の考え方があることを知り、ワークショップを通して建築の楽しさや奥深さなどを学修する。次に、業界には様々な分野があることを把握し、これから先に学んでいく4年間の科目と学修分野がどのように関連しているかを理解する。									
【科目の概要】 ワークショップを通して建築を学ぶ人材に特有の考え方があることを「建築を学ぶためのパターン・ランゲージ」を通して楽しみながら学ぶ。また、建築インテリア分野を学ぶ上で1つ1つの科目の意味を知り、科目ごとにどう関連しているかを把握する。さらに、仕事の目的や内容について紹介し、簡単なワークを通して建築インテリアに関する理解を深める。									
【到達目標】 次の4点を到達目標とする。 A：建築を学ぶ人材に特有の考え方、ものごとへの視点を持つことができる。 B：ワークショップの意義を理解した上で取り組むことができる。 C：4年間で学ぶ科目の内容と2年次で学ぶ科目同士の関係がわかる。 D：建築とインテリアの仕事の領域や内容がわかる。									
【授業の注意点】 教科書・配布資料をよく理解し、予習・復習を行うこと。 なお、ワークが未提出のままでは、0点になる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	特有の考え方・視点について深く理解している。		特有の考え方・視点を持つことができる。			特有の考え方・視点について理解が少ない。			
到達目標 B	ワークショップに積極的に参加している。		ワークショップに参加している。			ワークショップに参加してるとはいえない。			
到達目標 C	科目内容と科目同士の関係をおおよそ図に書いて説明ができる。		科目内容と科目同士の関係を半分程度、図に書いて説明ができる。			科目内容と科目同士の関係の理解が少ない。			
到達目標 D	仕事の領域や内容について自ら調べることができる。		仕事の領域や内容がわかる。			仕事の領域や内容を理解しようとする意欲が少ない。			
到達目標 E									
【教科書】 初学者の建築講座『建築インテリア』／市ヶ谷出版社									
【参考資料】 資料冊子、教育設計図、科目関連表									
【成績の評価方法・評価基準】 授業中に実施するワークショップ課題の内容、パフォーマンス課題で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名	建築入門							年度	2025
英語表記	Architecture Overview							学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
			1	2			
1	ガイダンス	建築とインテリアの学び方	1	授業の概要	授業の概要を理解している	1	
			2	授業の進め方	授業の進め方について理解している		
			3				
2	ワークショップ1		1	建築とは?	8つのテーマについて理解している	1	
			2				
			3				
3	ワークショップ2		1	交差点に立つ	このテーマについて理解している	2	
			2	ロマンとガマン	このテーマについて理解している		
			3				
4	ワークショップ3		1	ドアノブから都市まで	このテーマについて理解している	2	
			2	歴史の中に起つ	このテーマについて理解している		
			3				
5	ワークショップ4		1	シェルターとモニュメント	このテーマについて理解している	2	
			2	資格の重み	このテーマについて理解している		
			3				
6	ワークショップ5		1	大地に建つ	このテーマについて理解している	2	
			2	建築に宿る生	このテーマについて理解している		
			3				
7	ワークショップ6		1	アーキテクトビルダー	このテーマについて理解している	2	
			2	8つのテーマの振り返り	8つのテーマについて振り返ることができる		
			3				
8	ワークショップ7		1	建築思考	8つのテーマについて理解している	1	
			2				
			3				
9	ワークショップ8		1	手で考える	このテーマについて理解している	2	
			2	脳内ウォークスルー	このテーマについて理解している		
			3				
10	ワークショップ9		1	現場思考	このテーマについて理解している	2	
			2	身体が定規	このテーマについて理解している		
			3				
11	ワークショップ10		1	全体性とディテール	このテーマについて理解している	2	
			2	模型思考	このテーマについて理解している		
			3				
12	ワークショップ11		1	「問い」の創造	このテーマについて理解している	2	
			2	ユーザー志向	このテーマについて理解している		
			3				
13	ワークショップ12		1	共創のデザイン	このテーマについて理解している	2	
			2	8つのテーマの振り返り	8つのテーマについて振り返ることができる		
			3				
14	授業科目に対する理解	これから学ぶ科目についての理解	1	科目の分布	いつ何を学ぶかについて理解している	2	
			2	科目の内容	科目がどんな分野に関連しているか理解している		
			3	科目と仕事のつながり	科目がどんな仕事に関係しているか理解している		
15	仕事に関する理解	建築とインテリアの仕事に関する理解	1	仕事をする魅力	建築とインテリアの仕事の魅力を理解している	2	
			2	仕事の領域	分野の名前と仕事の領域を理解している		
			3	仕事の内容	分野ごとの仕事内容を理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等